

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 2 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針について、入居時に口頭による説明で理解を得ているが、文章化した指針所が作成されていない。後々、重度化された段階で齟齬が生じる恐れがある。	口頭ではなく、文章化したものを提示し、相互の確認のもと受け入れを行い、後々の対応に支障をきたさないようにする。	①看取り加算を算定できるかどうかを検討する。 ②看取り加算が算定不可の場合、「看取りはできない」「日常的に医療処置が必要になるなど重度の状態になった場合を退去要件加える」の2項目について同意書を作成し、契約を交わすよ	6ヶ月
2	35	年2回の災害訓練を実施しているが、地域の協力を運営推進委員会や町内会を通じて依頼しているが、訓練の実施までには至っていない。	地域の方に参加いただき、災害訓練を定期的に実施する。	①運営推進委員会や町内会を通して訓練計画書を提示して協力を仰ぐ。 ②訓練計画書に基づき災害訓練を実施し、定例化する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。